

院内報「みらい」(クスリのお話)

= おクスリと上手におつきあいしていただくために =

クスリの役割はクスリそのものが直接、病気を治すものではなく、人間のからだに備わっている自然に治る力を助ける役目を果たしているという事です。

薬の効き方には

一. 気の原因になっている病原体に直接はたらく。

二. 直接病気の原因を取り除くのではなく、病気による苦痛や、その他いろいろの症状をやわらげる。

三. 病気の成り立ちの主要な点や部分的な要素をたち切ったり妨げたりして異常な状況を正常な方向に向ける。

以上三つに分けられ、医師は、その時の病気の治療に応じて必要と思われるクスリを処方するわけです。そのため処方されたクスリはキチンと服用しないと医師は適切な治療ができなくなります。それからもし複数の病院からクスリをもらっている場合、クスリの併用により、相互作用がおきて、クスリのはたらきを強めてしまったり、弱めてしまったり、中には無効にしてしまう時があります。またクスリによっては、臨床試験の結果に影響、正確な判断や治療を妨げるものもありますので、医師の診察を受ける時は必ず服用しているクスリを報告してください。

高血圧や糖尿病など長期にわたり、キチンと飲み続けなければならないクスリでも、カゼをひいてカゼ薬を飲んでいただけ、いつものクスリはやめていたという方を時々見受けますが、自己判断で常用薬を止めてしまう事により、病気が悪化したり、進行したりする事がありますので、自分勝手に服用を中断せず、医師・薬剤師に相談して下さい。また副作用が怖いからクスリを飲みたくないという方がいらっしゃいますが、クスリは治療に必要と判断されたためのものですから必ず飲んで下さい。胃腸症状、発疹など出たらすぐに医師に報告して下さい。その後の事は医師が判断してくれます。血液検査や尿検査を受ける事により副作用の発現を未然に防げます。クスリについて不安な事、聞きたい事、いつでも薬剤師に相談して下さい。そしておクスリと上手におつきあいしていただければと思っています。

田名北薬局 薬剤師 内村千里

